

学生グライダーの聖地『妻沼滑空場』

『妻沼滑空場』は日本学生航空連盟の訓練所として、昭和38年に開設されました。



北に赤城山を望むのどかな利根川河川敷の風景の中で、土手を歩く人やサイクリングを楽しむ人たちに見守られながら、グライダーは静かに、そして悠々と青空を旋回します。

滑空時間と飛行回数で、日本一を誇る妻沼滑空場では、毎年3月に「全日本学生グライダー競技大会」が開催されるほか、10月には「埼玉スカイスポーツフェスタ」が行われ、事前申込制でグライダーの体験搭乗なども行われています。

こうした大会やイベントも盛んなことから、『学生グライダーの聖地』と呼ばれていますが、その呼び名は「ブルーサーマル」でも描かれているように、グライダーに魅せられた学生たちが青春を過ごし、情熱を注いだ場所としての意味も持つことでしょう。

熊谷市のグライダー『めぬま号』

熊谷市では、平成12年（旧妻沼町時代）に、まちおこしの一つとしてグライダーを購入し、『めぬま号』と名付けられました。めぬま号は、市民や熊谷市を訪れる人に、グライダーの魅力を体験してもらおうと購入したものです。

現在はめぬまグライダークラブに管理を委託し、イベントなどでその役割を果たしています。



